

わたしの心の中のお日さま

どんなに暑くても ひたむきに太陽を見つめるヒマワリのように
誰か1人のために たった1つのことのために
生きていけたら すてきだと思う



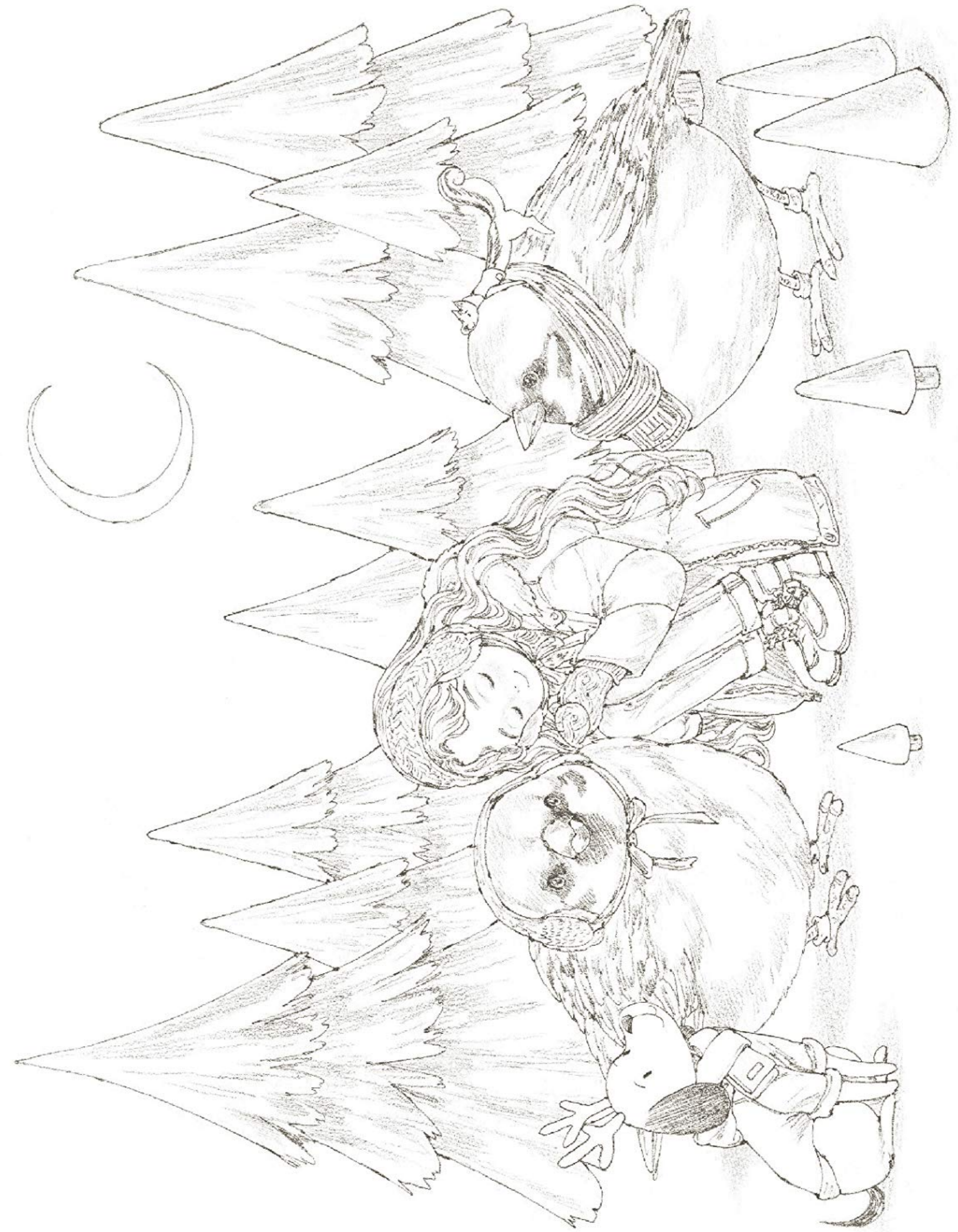
思い出のひとつ

本を開いたら 偶然見つけたもみじの一片
懐かしい記憶がまざまざと
思いがけず出会った あのころ あのときの秋



待ちわびた冬

冬を迎える備えはしっかりと
刺すように吹きつける北風も、凍てつく冬の森も、
あなたと手をつないでいれば 怖くない



あなたの温もり

一人ではくじけそうなとき

あなたが生きていることに あなたが微笑んでくれることに

感謝せずにはいられないの

